

平成28年度 第1回飯田市行財政改革推進委員会 議事録

日時：平成28年6月27日（月）18：30～20：30

場所：市役所 C棟313会議室

出席者：佐々木(重)会長、佐々木(祥)会長職務代理、木下委員、古田委員、林委員
山崎委員、久保田委員、須山委員、中山委員、中島(修)委員、森下委員、
中島(た)委員、西塚委員、上河内委員
佐藤行財政改革推進本部本部長、伊藤総務部長、櫻井財政課長、原田人事課長
事務局

欠席者：なし

1 開会（伊藤総務部長）

2 任命書交付（佐藤副市長）

3 あいさつ

（佐藤本部長）

- ・任命書を交付させていただきましたが、前期に引き続きの委員、そして新しく任命された委員のみなさまには、今後三年間宜しくお願ひしたい。
- ・本年度の委員会の協議内容についてはこれから説明させていただくが、現在の行革大綱は本年度で終了により、来年度からの新しい行革大綱を作っていただくことがこの委員会での大きな役割となる。
- ・この右肩下がりの時代に、どのような形の行革のあり方がよいのか難しいテーマであり我々もどういふ形の行革がよいのか悩んでいるところである。委員のみなさまには難しい議論をしていただくことになるが、それぞれの立場からご意見をいただき議論していきたい。
- ・公共施設マネジメントの取組についても、先日、市議会全員協議会にて報告を行い、これから市民のみなさんと具体的な検討を行っていくことになる。難しい環境の中での議論となるが宜しくお願ひしたい。

4 自己紹介

- ・行財政改革推進委員、事務局

5 会長等の選考及び今年度の日程・協議内容について

(1) 会長及び職務代理者の選出について

飯田市行財政改革推進委員会条例第5条の規定により会長を互選。
会長職務代理は会長が指名。

○会長 佐々木 重光

○会長職務代理 佐々木 祥二

(佐々木会長)

- ・引き続き会長となるが、みなさんの協力により建設的な委員会にしていきたい。
- ・飯田下伊那地域では、リニア、三遠南信など交通革命がある中で行財政改革のあり方などそれぞれの立場から意見をいただきたい。
- ・女性委員の割合も増えたことをうれしく思う。子育て支援についても重要な課題となっているため、是非、女性委員のみなさんからも意見をいただきたい。

(2) 今年度の日程・協議内容について (櫻井財政課長)

6 協議事項

(1) 次期飯田市行財政改革大綱の策定に向けて (櫻井財政課長)

- ・質疑等なし

(2) 定員適正化計画について (原田人事課長)

- ・質疑等なし

(3) 改革プランの平成27年度実績及び平成28年度計画について (櫻井財政課長)

(古田委員)

- ・平成27年度歳入確保-市税収納率-H27実績額が計画より上回っている理由はなにか。
→H24収納率95.08%の維持していくことが目標であったが、その後3年間で市民の納税意識の高さや、市の取組もあり収納率が向上した。当初の見込みと想定外のところもあった。(櫻井財政課長)

(上河内委員)

- ・ふるさと納税の実績がよかった具体的な理由はなにか。
→H27に飯田市の特産品を返礼品として用意し、インターネット等で広告した結果である。(櫻井財政課長)

(須山委員)

- ・飯田市民が市外へ納めた金額は把握しているか。市外へ納めた金額のほうが多いとするともっと飯田市の魅力を増やしアピールする必要もある。
→数値は持ち合わせていないが、市外へ納めている金額以上に飯田市へ納めていただいている方が多い。(櫻井財政課長)
- ・ふるさと納税を活用し、飯田市を更にアピールしていただきたい。

(4) 公共施設マネジメント優先検討施設の取組状況について

- ・質疑なし

(5) 平成28年度指定管理者協定期間終了施設の実績評価及び今後の方針について

- ・指定管理者制度の概要について (櫻井財政課長)
- ・担当より説明 (環境モデル都市推進課、観光課、生涯学習スポーツ課、林務課)

(森下委員) 飯田市野底山森林公園関連

- ・マレットゴルフ場の利用者より、修繕の要望があるので改善していただきたい。
→老朽化している箇所もあるので、地域協議会を中心に整備を進めている。(林務課)

(佐々木(祥)委員) 飯田市野底山森林公園関連

・人件費が高いと思うが内容はどのようなものか。

→管理人2名の人件費及び清掃等の報酬費を計上している。(林務課)

(中島(修)委員) 飯田市旧小笠原家書院、大平宿生活原体験施設関連

・それぞれの施設で収益を上げているが、更に観光資源として位置付け、利益を上げていくか、あるいは現状を維持していくのか。

例えば、小笠原書院の利用客数はこの程度でよいのか、あるいは更に観光誘致していくのか。

・大平宿について、リスク管理はどのように対応しているか。

→小笠原書院について、観光資源としての位置づけで考えており、今後、観光関係団体と連携して利用者増を図っていききたい。(生涯学習スポーツ課)

→大平宿について、緊急時の対応を含めてマニュアルを作成している。年数回訓練も実施している。(観光課)

→方向とする、指定管理の継続でお願いしたい。全体的に各施設順調に推移しているため今後も有効活用しながら、多くの方に利活用していただくように努めていきたい。

リニア時代を見据えた場合、野底山森林公園や大平宿を活用する方向性は高いが、施設の老朽化等もあるため、総合的に見地しながら判断していきたい。(伊藤総務部長)

(木下委員)

・指定管理者の委託料が収入になっている。指定管理者の委託料はどのように決めているのか。

→指定管理する前(直営時)の運営経費を基本に市が決めている。施設によっては、施設独自の収入も見込まれるため、運営状況を見ながら精査し決定している。(櫻井財政課長)

(木下委員)

・収入と支出のバランスはどのように確認しているか。不足するとその他の支出として市から支出している。どう適正に運営されているかわからない。

→指定管理料以外の支出については、指定管理者協定の中で、10万円の未満の修繕等は指定管理者が負担、10万円以上の支出については市が負担することになっている。

(櫻井財政課長)

(木下委員)

・支出の状況を見ると、ほとんど市が負担している。そのため、収支のバランスや、どこで経費を削減しどこで経営努力をしているか見えてこない。

→貴重なご意見ありがとうございます。

民間の事業者、あるいはまちづくり委員会が指定管理者になることで、利用者の利便性の向上や地域の活性化につながっていく目的であるが、ご指摘のとおり指定管理料についても精査していく必要はあるため、今後の指定管理者の実績評価については研究させていただきたい。(伊藤総務部長)

(須山委員)

・直営で運営していた時にどのくらいの経費がかかっていたが、指定管理者制度を導入したことにより、どれだけの経費が削減でき、どれだけサービス向上につながったかわかるようにしていただきたい。(意見)

6 その他

①議事録の作成及び公開について（説明：事務局）

→意見なし。ホームページで公開する。了承。

②次回勉強会予定

日時 7月26日（火）18：30～、会場 C棟313会議室

内容 飯田市の行財政改革の取組について

7 閉会